

Title	『史学』第九一巻総目次
Sub Title	The consolidated content of volume 91
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2023
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.91, No.4 (2023. 1) ,p.121 (389)- 122 (390)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20230100-0121

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『史学』第九一卷総目次

論文

朝鮮代牧区の設定と婚姻の特免

安 廷苑 (一)

古代地方寺院の性格と機能

藤本 誠 (二七五)

― 地方豪族と住僧の検討を中心として ―

― 門野幾之進の活動を事例として ―

第二次世界大戦後、間島省臨時政府の朝鮮人文官とその活動

三科 仁伸 (二六九)
尹 国花 (二九九)

一五二四年のシャフハウゼンにおけるアラ―ハイリゲン修道院の解散について

― 宗教改革前史をめぐる一考察 ―

野々瀬浩司 (三二二)

研究ノート

カイロ城に住むスーフィー聖者の飾紐職人

― バイラミーヤのイブン・ティムルハーン ―

長谷部史彦 (二二二)

二〇二二年度三田史学会大会総合部会シンポジウム報告

『史学』一〇〇年の総括と展望

序言

『史学』編集委員会 (二五)

講演一 三田史学会と『史学』のこれまで―戦前期を中心として― 神崎 忠昭 (二七)

講演二 各専攻からの報告

近年の『史学』日本史学関係論文の特徴 浅見 雅一 (一一三)

東洋史学の回顧と展望 (一九九一年―二〇二二年六月) 岩間一弘・長谷部史彦 (一二一)

一九九〇年以降の西洋史学専攻と『史学』 野々瀬浩司 (一三七)

民族学考古学専攻と雑誌『史学』との関わり 杉本 智俊 (一六五)

彙報

(一二七) (三八一)

第九一卷総目次

(三八九)